高さ調節付
浴槽手すりUST−165W

取扱説明書

最大使用者体重：80kg

このたびは高さ調節付浴槽手すりUST−165Wをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
なお、この取扱説明書（保証書）は大切に保管してください。

もくじ

保存版
（保証書付）

ARONKASEI CO.,LTD.

安全上のご注意 （必ずお守りください）

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

■お守りいただきたい内容の種類を、下の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

してはいけない「禁止」内容を説明しています。

⚠ 警告 誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

毎回ご使用の前に、グリップを前後左右にゆらしてみて、ガタツキやずれが無く浴槽にしっかり固定されているか確認すること

使用中に手すりが外れ、転倒やけがの原因になります。

ガタついている場合は…11・12ページへ

浴槽の外側に段が付いている場合は、必ず付属の「段差補正板」を使用し、段差が無くなるようにしてから浴槽手すりを取り付けること

段差補正を行わないと手すりが浴槽から外れ、転倒やけがの原因になります。

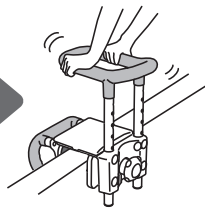
※「段差補正板」を浴槽の内側には使用しないでください。

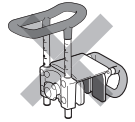
取り付けの条件はP.3～4に従うこと

手すりが外れ、転倒やけがの原因になったり、浴槽が変形・破損する原因になります。

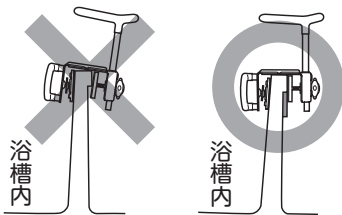
詳しくは…3～4ページへ

内グリップが必ず浴槽の内側を向くように取り付けること

取り付け方向が逆になると、取り付け強度が弱くなり、転倒やけがの原因になります。

分解や改造をしないこと

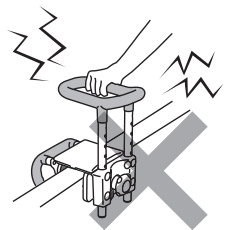
手すりが正常にはたらかず、けがの原因になります。

体重が80kgを超える方は使用しないこと

使用中に手すりが外れたり、破損しけがの原因になります。

子どもを遊ばせる等、他の用途で使用しないこと

けがの原因になります。

反動をつけて使用したり、全体重が手すりにかかるような使い方はしないこと

使用中に手すりが外れ、転倒やけがの原因になります。

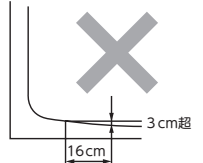
※浴槽手すりは浴槽縁のまたぎ動作、浴槽台・シャワーベンチ等からの立ち座り動作を補助する簡易取り付け手すりです。

浴槽手すりの取り付けは、力の弱い方が行わないこと

使用中に手すりが外れ、転倒やけがの原因になります。

※取り付けに不安のある方は、介助者が取り付け・取り外しを行うか、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談してください。

浴槽以外へは取り付けないこと

手すりを浴槽の端に寄せて取り付けるとき、浴槽壁厚の差が3cmを越える場所には取り付けないこと

手すりが浴槽から外れ、転倒やけがの原因になります。

安全上のご注意

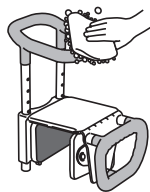
⚠注意 誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

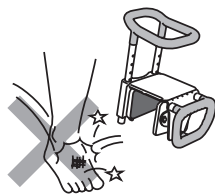
使用者の身体状況によっては、介助者が付き添ったり、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談すること

浴槽手すりを取り付ける前に、浴槽の取り付け面に湯あか等の汚れや、水分及び洗剤等が残らないように清掃すること

浴槽が汚れていると、使用中に手すりが外れやすくなります。

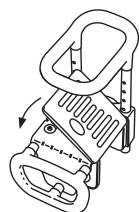
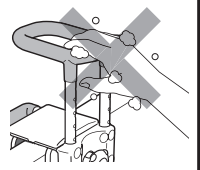
浴槽手すりは、こまめに清掃すること

本体グリップや内グリップの滑り止め部分にカビやぬめりが発生し、滑り止めが効きにくくなる原因になります。

取り付け・取り外しの際には、足の上に落とさないよう取り扱いには十分注意すること

足の上に落とすとけがの原因になります。

ハンドルを必要以上にしめつけないこと

浴槽が変形、または破損する原因になります。(タイル壁面の場合は、タイルが破損することがあります。)

スライド板カバーを必ず取り付けること

使用中にネジが外れたり、ネジに引っかかったりして、けがの原因になります。

石鹸や洗剤が付着した手で使用しないこと

手が滑り、けがの原因になります。

浴槽手すりに座ったりしないこと

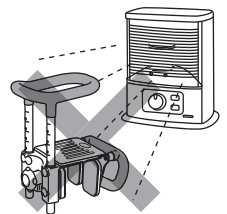
本体が破損し、けがの原因になります。

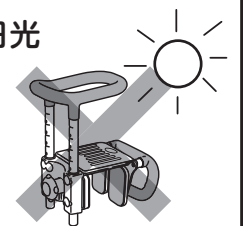
●お手入れ・保管時の注意●

お湯の温度が45℃以上では使用しないこと

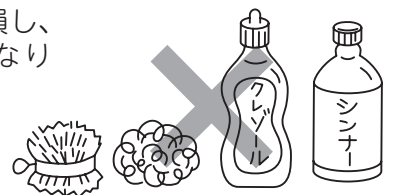
ゴムシートや押圧ゴム板がはがれ、けがの原因になります。

火気に近づけないこと

火災や変形の原因になります。

戸外に放置したり、直射日光に当てたりしないこと

劣化及び変形やソリ・ひび割れの原因になります。

お手入れの際は、タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと

塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと

劣化または破損し、けがの原因になります。

アルコール以外で消毒しないこと

変形や劣化の原因になります。

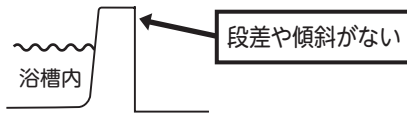
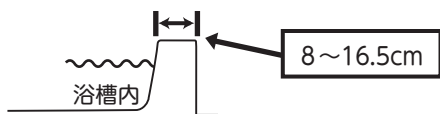
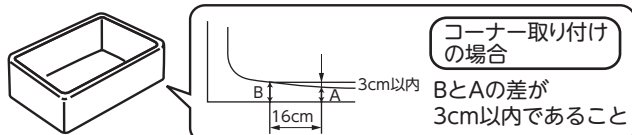
取り付け前のご確認

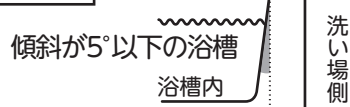
この製品は取り付けできる浴槽と、取り付けできない浴槽があります。
必ず 取り付けできる浴槽 に取り付けてください。

取り付けできない浴槽に無理に取り付けた場合
- 手すりが外れてバランスを崩して、転倒やケガの原因になります。
- 浴槽の変形、破損の原因になります。

浴槽の形状

取り付けできる浴槽（全て満たすこと）

- 浴槽上縁部が平らな浴槽

- 浴槽の壁厚が　8～16.5cm

- 直線部分がある浴槽

- 傾斜が少ない浴槽

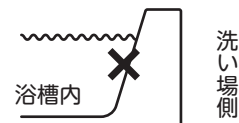
取り付けできない浴槽

- 浴槽上縁部に段差や傾斜のある浴槽

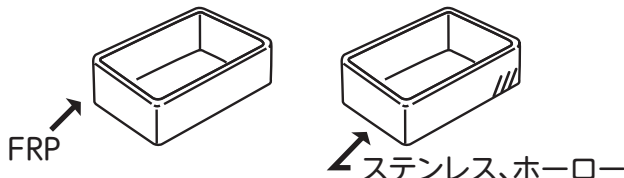
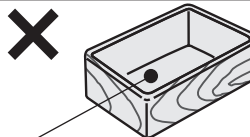
- 条件外の壁厚の浴槽

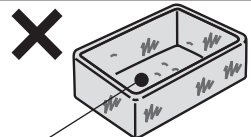
- 湾曲の大きい浴槽、または部位（コーナー部）

- 傾斜がきつい浴槽

浴槽の材質

取り付けできる浴槽

- FRP、ステンレス製、ホーローの浴槽

取り付けできない浴槽

- 木製や大理石の浴槽

内側がぬめる、著しくすべりやすい浴槽には取り付けできません。

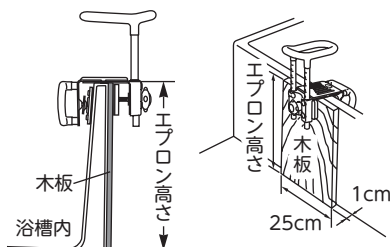
- 著しく劣化した浴槽

表面にざらつきや細かなヒビ割れがある浴槽には取り付けできません。

浴槽壁の強度

取り付けできる浴槽

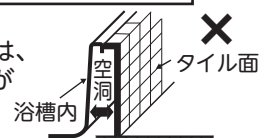
- 右記のタイプは浴槽壁の強度が足りず、取り付けできません。
- 上記の浴槽で、強度に不安がある場合（指で押すとたわむ等）は、浴槽壁を補強してください。

壁の補強として、幅25×厚さ1cmで、エプロン高さに合わせた長さの木板を、洗い場側に両面テープ（木板外周全て）で貼りつけてください。

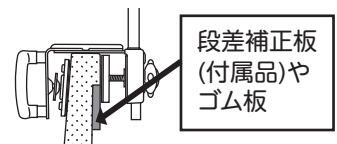
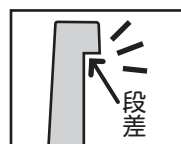
取り付けできない浴槽

- 浴槽外側のエプロン部を取り外しできる浴槽

※判断がつかない場合は浴槽施工業社又はお買い上げの販売店にご確認ください。

- タイル張りで、浴槽壁内部が空洞の浴槽

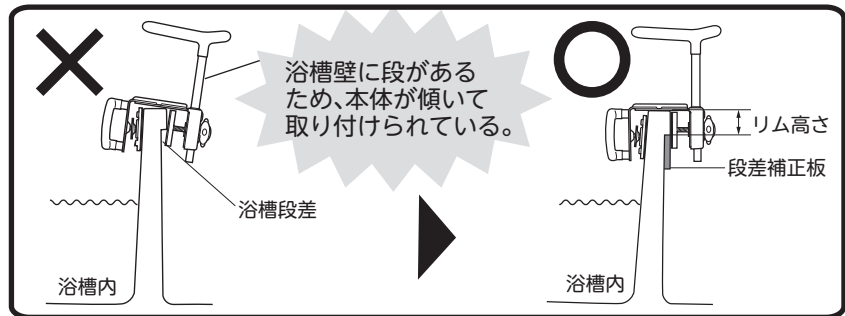
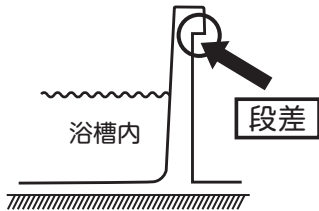
※天面・側面がタイル張りの場合は、タイル面を軽くたたいて、内部が空洞か確認してください。

付属品等を使って取り付けできる浴槽

上表の「取り付けできる浴槽」の条件を満たした上で、右図のような縁の下部に段差のある浴槽は、必ず段差を埋めて、取り付けを行ってください。

段差補正板（付属品）やゴム板

❗ 詳しい取り付け方法は、取り付けかたの次のページを参照してください。

取り付け前のご確認

段差補正が必要な場合

浴槽の外側に図のような段差がある場合、段差を補正すると取り付けることができます。

浴槽の縁に段差がある場合は、段差の大きさに合わせた補正方法に従って、補正をしてください。

浴槽壁の形状	段差	リム高さ	段差の補正方法	補正の板
リム高さ / 段差 / (浴槽内) / (外側)	1.5cm以下	4cm未満	浴槽手すり本体のゴムシート部下端に合わせた位置に、段差補正板を貼り付けます。 段差補正板 / 4cm未満 / 合わせる	●段差補正板3枚【付属品】 (16㎝×6㎝×厚さ5㎜)
		4cm以上	リム下端に接する位置へ、段差補正板を貼り付けます。 段差補正板 / 4cm以上 / 合わせる	段差厚(㎝) 0.5：1枚 / 1.0：2枚 / 1.5：3枚
	1.6cm以上	ー	段差に合わせた厚みの木板または硬いゴム板を別途ご用意いただき、取り付けてください。 木板や硬いゴム板 段差補正板と木板・ゴム板を併用する場合 木板・ゴム板 / 段差補正板 段差補正板を先に浴槽壁に取り付けること	●木板または硬いゴム板 【別途ご用意ください】 16cm以上 / 6cm以上 / 段差の厚さ

段差厚(㎝)	段差補正板 必要枚数
0.5	1枚
1.0	2枚
1.5	3枚

⚠ 警告

段差補正を行うときは、しっかり固定するために、必ず以下に従うこと

段差補正板や木板・ゴム板は必ず洗い場側へ取り付けること

段差と段差補正板・木板・ゴム板の寸法はできる限り合わせること

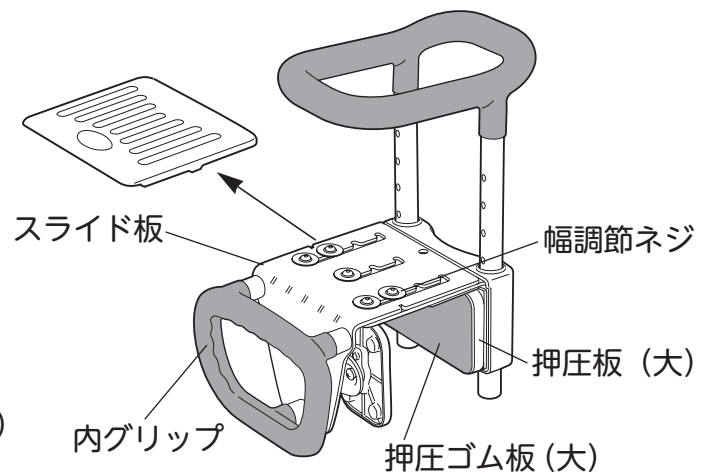
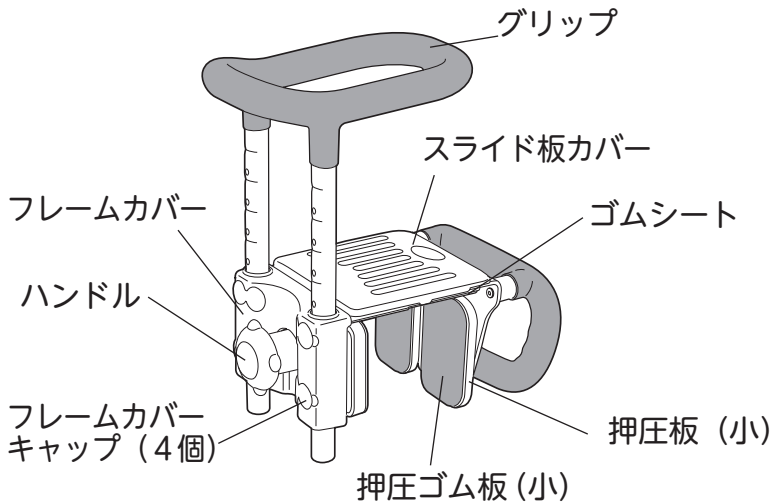
完全に寸法が合わない場合、段差補正板等が浴槽の段差よりはみ出さないようすること。

段差補正板・木板・ゴム板は必ずテープで固定すること

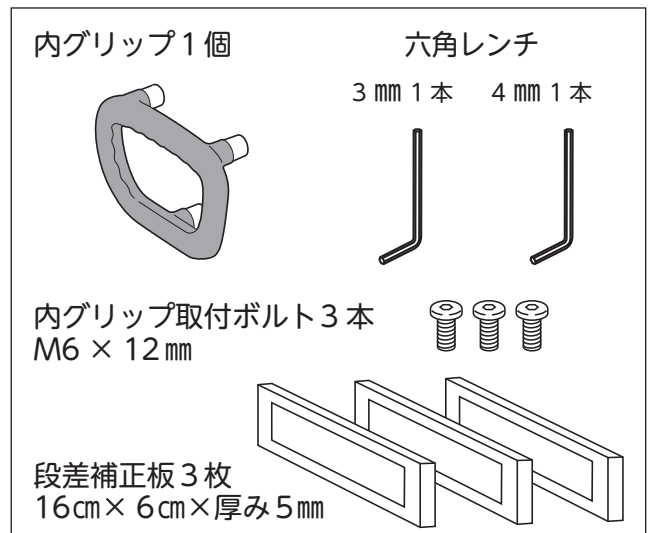
万一段差補正板がとれた場合、浴槽壁に残ったのりをきれいに取り除き、市販の強力な両面テープで段差補正板を貼り直してからご使用ください。

浴槽内　テープ　段差補正板

木板やゴム板にぬめりや反りが出たら、交換すること

各部のなまえ

■仕様

品　名	高さ調節付浴槽手すり UST － 165W	
部　位	部品名	材　質
本　体	フレーム	ステンレス
	フレームカバー	ポリプロピレン
	フレームカバーキャップ	エラストマー
	ハンドル	ポリプロピレン
	スライド板	ステンレス
	スライド板カバー	ポリエチレン
	締付けネジ ネジスリーブ	黄銅
グリップ	グリップ	ステンレス・エラストマー被覆
	内グリップ	ポリプロピレン・エラストマー被覆
挟み込み部	押圧板（大・小）	ポリプロピレン
	押圧ゴム板（大・小）	エラストマー
ほ　か	ゴムシート	エチレンプロピレンゴム
	段差補正板	ポリエチレン
サイズ	20.5 × 31.5 ～ 37.5 ×高さ 37 ～ 39cm グリップ高さ（浴槽上縁から）11・14・17・20・23・26cm	
重　量	約 4.6kg	

■付属品

廃棄上のご注意　おすまいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

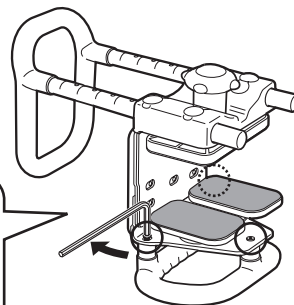
特長

- ●取り付けたまま風呂フタができます。
- ●洗い場側でも使用でき、あらゆる角度からつかめて浴槽に安心して入れるループ形状のグリップ。
- ●身長に合わせて幅広く選べるグリップ高さ。（浴槽から 11・14・17・20・23・26cm）
- ●卵型（断面形状）の持ちやすいグリップ形状。
- ●グリップはソフトなタッチで滑りにくく、冷たさを感じさせない素材を使用。
- ●幅調節は、上からネジをゆるめるだけで調節可能。
- ●しめつけやすい形状のハンドル。
- ●浴槽壁に接する部分には、浴槽保護のためシートを使用。
- ●押圧板は浴槽面に合わせて動く首フリタイプ。
- ●浴槽内で身体を安定させたり、引き起こしたりするのに便利な円形状の内グリップ付き。
- ●コーナーへ寄せて使える２枚押圧板仕様。
- ●内グリップを外せば浴槽内すっきり。

組みたてかた

内グリップの取り付け

必要に応じて、内グリップを取り付けてください。
3 本のグリップ取付ボルトを付属の六角レンチ（3mm）で最後まで強くしめ込んでください。

> ⚠ **注意**
> **付属のネジ３本でガタつかないようにしめつけること**
> ネジがゆるんでいると、使用中に内グリップがガタつき、けがの原因になります。

取り付けかた

●取り付けに不安のある方は、介助者が取り付け、取り外しを行うか、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談してください。高齢の力の弱い方が行うと、しっかり取り付けられない可能性があります。

●取り付ける前にP.3～4の「取り付け前のご確認」をよくご確認ください。

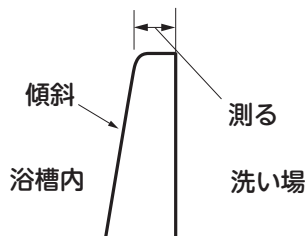
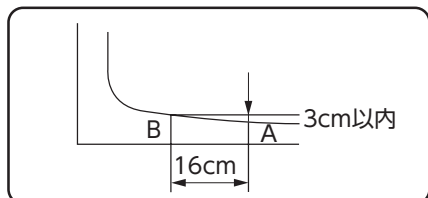
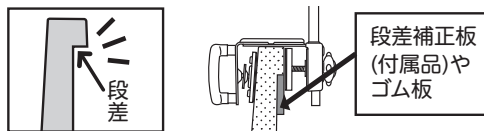
フィッティング（高さ設定など）や取り付け位置は、使う方の体格や入浴動作をしやすいよう、お買い上げの販売店やケアマネジャー等の専門家に相談することをおすすめします。

製品を取り付ける前に以下の手順を行ってください。

浴槽手すりを取り付ける位置を決める

1 取り付け可能な浴槽の壁厚は８～16.5cm（浴槽内側に傾斜があるときは 16cm）です。

2 取り付け面に洗剤・湯あか等が付着していると滑りやすいので、乾いた布などで十分に拭き取ってください。

3 浴槽壁の厚みを測ってください。浴槽内壁に傾斜があるときは測った数値に＋ 0.5cm した値を、浴槽壁の厚みと見なしてください。

●端に寄せて取り付ける場合は、BとAの差が3cm以内であることを確認してください。

縁の下部に段差がある浴槽は、段差を埋めてください。

詳しくは… **4 ページ**へ

取り付けかた

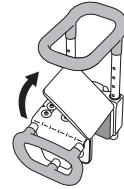
幅調節を行う

1 取り付け位置の浴槽壁の厚みと①〜③が適合する範囲を確認してください。

範囲①	8 〜 10.5cm

範囲②	10.6 〜 13.5cm

範囲③	13.6 〜 16.5cm

2 スライド板カバーを外してください。

3 下図の通りに、フレーム幅を調節してください。

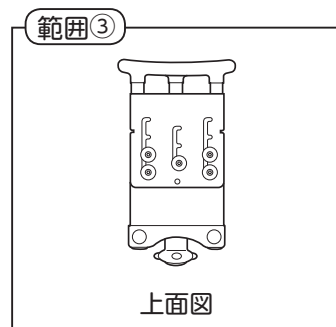
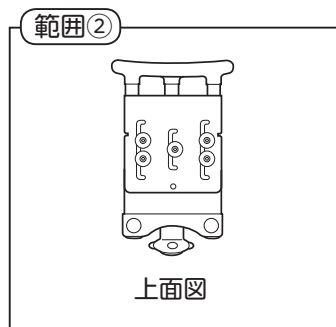
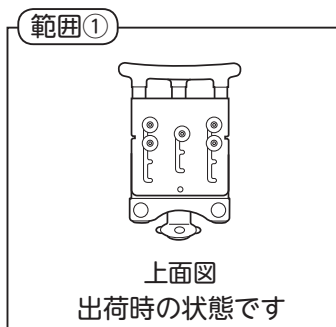
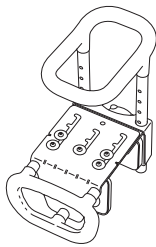
範囲①

上面図
出荷時の状態です

範囲②

上面図

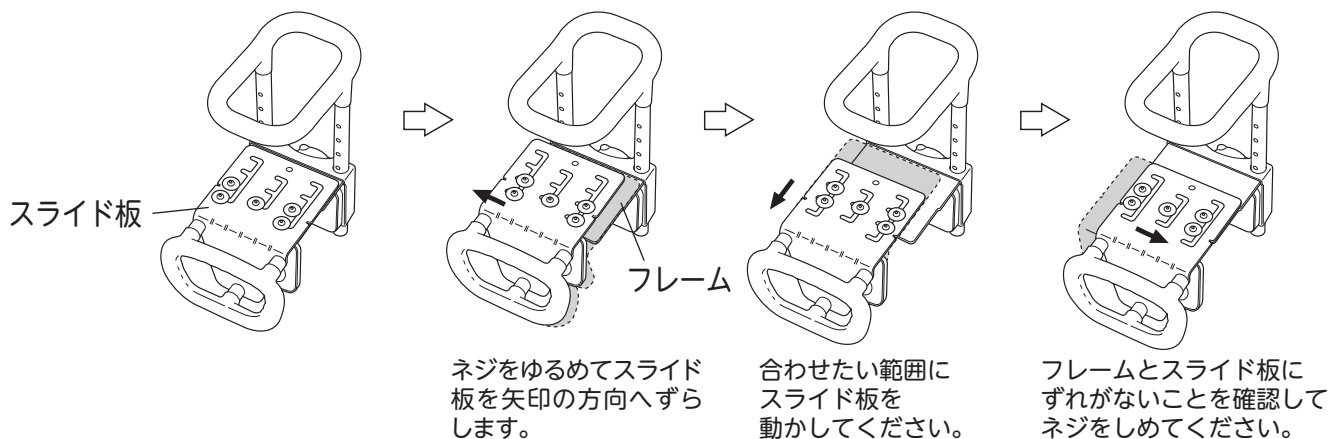
範囲③

上面図

（1）付属の六角レンチ（4mm）で表のようにネジをゆるめます。（出荷時は範囲①の状態です。）

範囲①の場合	ネジのしめつけを確認ください
範囲②の場合	ネジを 5 本ゆるめて 1 段広くします
範囲③の場合	ネジを 5 本ゆるめて 2 段広くします

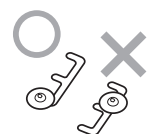
（2）フレームを下図のようにスライドさせ、しっかりとネジをしめつけます。（図は範囲②の場合を示します）

ネジをゆるめてスライド板を矢印の方向へずらします。

合わせたい範囲にスライド板を動かしてください。

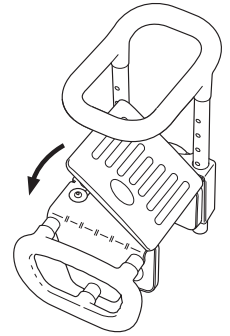
フレームとスライド板にずれがないことを確認してネジをしめてください。

⚠ 注意

- **（2）のとき、フレームとスライド板にずれがないことを確認してからネジをしめつけること**
  使用中に手すりが浴槽から外れ、けがの原因になります。
- **ネジが確実にしまったか確認すること**
  使用中にネジが外れ、破損やけがの原因になります。

最後まで
スライドさせる
○ ×

※正しい位置でネジを固定していないと、カバーは取り付けできません。

4 スライド板カバーをスライド板に押し当てて固定してください。

※スライド板カバーの向きが逆になっていると、カバーがきちんとはまりません。

⚠ 注意

スライド板カバーを必ず取り付けること
使用中にネジが外れたり、ネジに引っかかったりして、けがの原因になります。

浴槽への取り付け

●P.3の「取り付け前のご確認」を必ずご確認ください。
判断がつかない場合は、浴室施工業者又はお買い上げの販売店にご確認ください。
●初めて取り付けたときや、浴槽から製品を取り外して再度取り付けを行ったときは、必ずしっかり取り付いてガタつきがないか点検してください。

1 内グリップが浴槽の内側に向くように取り付けます。

2 浴槽壁に図のようにセットし、ハンドルを右に回してガタツキやずれが無いように取り付けます。

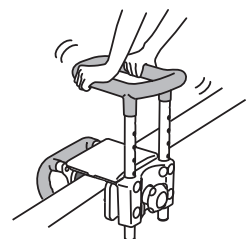
⚠ 警告

取り付けた後は、グリップを前後左右にかるくゆらしてみて、ガタツキやずれが無く浴槽にしっかり固定されているか確認すること
使用中に手すりが外れ、転倒やけがの原因になります。

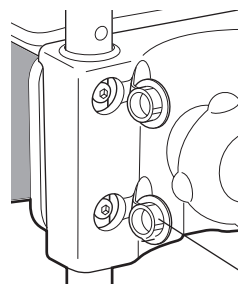
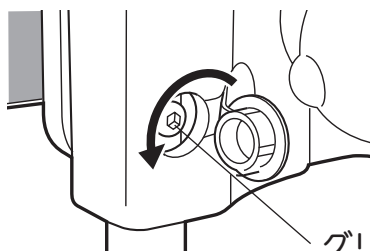
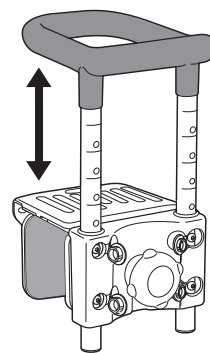
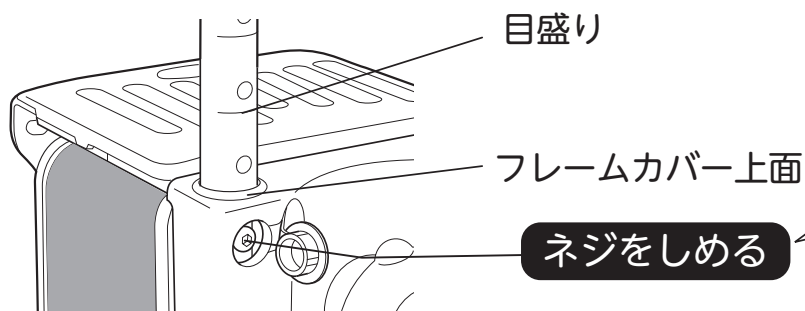
⚠ 注意

ハンドルを必要以上にしめつけないこと
浴槽が変形、または破損する原因になります。
（タイル壁面の場合は、タイルが破損することがあります。）

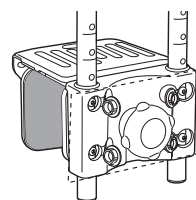
正しくセットされていることの確認

しめつけが弱くグラツキはないか。
●浴槽壁が弱く変形していないか。
変形している場合は、木板にて壁を補強してください。
●傾いて取り付けられていないか。
●フレームが浴槽の上縁より浮き上がっていないか。

高さ調節のしかた

グリップの高さ調節

1 フレームカバーキャップを外してください。
（4 ケ所）

2 付属の六角レンチ（4mm）でグリップ固定ネジを外してください。（4 ケ所）

3 グリップをスライドさせてお好みの高さに設定してください。

4 手すり本体にある目盛りとフレームカバーの上面を合わせながら付属の六角レンチ（4mm）で
手すり固定ネジをしめてください。（4 ケ所）

5 最後にフレームカバーキャップを元通りにはめて完了です。

⚠ 警告

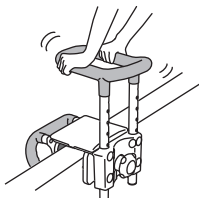
グリップ固定ネジ（４本）でしっかりしめつけること
ネジがゆるんでいると使用中にネジが外れ、破損やけがの
原因になります。

使いかた

使用する前に確認してください

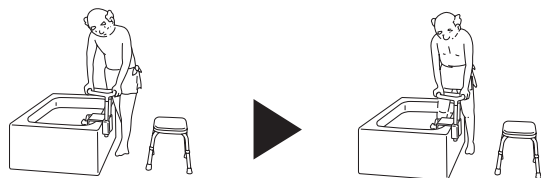
※毎回必ず本品がしっかりと浴槽に固定されていることを確認してからご使用ください。

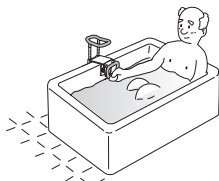
ネジやハンドルがゆるんでいないか、浴槽との間にすき間がないか、確認してください。

確認方法

製品を前後左右にかるくゆらし、
ガタつきがないか確認する

ガタつき、すき間がある場合は、製品
を取り外し、再度、すき間がないよう
取り付けてください

※上記の対応でガタつきやずれが直らない場合は、P.11・12を確認し、それぞれ対応してください

1　浴槽をまたぐときに使用する。

両手でグリップをしっかり持って、
片足ずつゆっくりと移動してください。

2　浴槽内での姿勢安定に使用する。

内グリップを握って、浴槽内で身体を
安定させてください。

3　浴槽内からの立ち座りに使用する。

内グリップやグリップを持って、
身体を支えながら立ち座りを
行なってください。

※浴槽台を併用すると、より安心して立ち座りできます。

4　洗い場からの立ち座りに使用する。

グリップを持って、身体を支えながら
立ち座りを行なってください。

※シャワーベンチを併用すると、より安心して立ち座りできます。

⚠ 警告

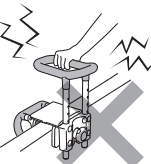
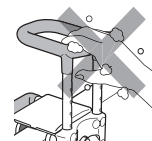
体重が 80kg を超える方は使用しないこと

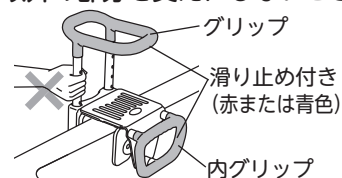
使用中に手すりが外れたり、
破損しけがの原因になります。

石鹸や洗剤が付着した手で使用しないこと

手が滑り、けがの原因にな
ります。

反動をつけて使用したり、全体重が手すりにかかるような使い方はしないこと

使用中に手すりが外れ、転
倒しけがの原因になります。

グリップ、内グリップ以外の部分を支えにしないこと

本品が破損した
り、手がすべり、
転倒やけがの原因
になります。

お手入れの方法

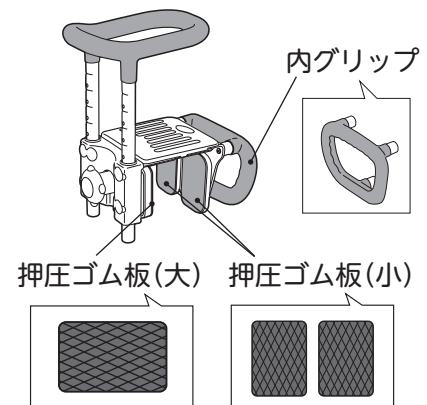
お掃除のしかた

●中性洗剤のうすめ液をスポンジかやわらかい布にふくませ、汚れを取ったあと、きれいな水で洗剤を洗い流し、かげ干しか、乾いた布で空ぶきしてください。

●必ず中性洗剤を使用すること
●タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
●塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
劣化または破損し、けがの原因になります。

●消毒はアルコールを使用してください。

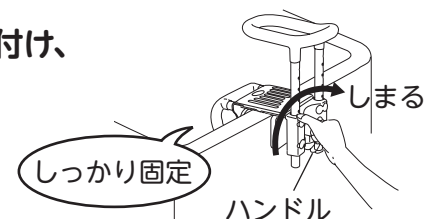
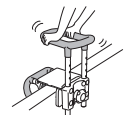
交換部品（消耗品）

内グリップ、押圧板のゴム板は交換部品です。
汚れや変形、破損（裏面凸部がちぎれる等）などの劣化があれば、お買い求めになった販売店にお問い合わせの上ご購入し、交換してください。

点検のしかた

安全に長くお使いいただくために、必ず点検やメンテナンスを行ってください。

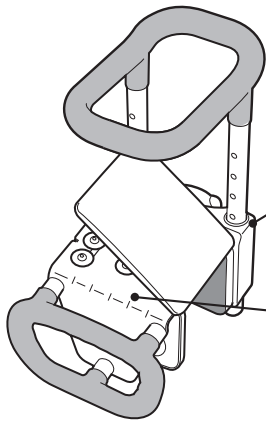
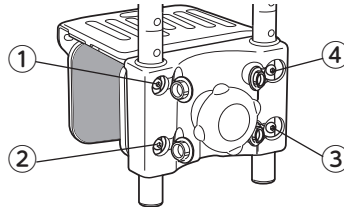
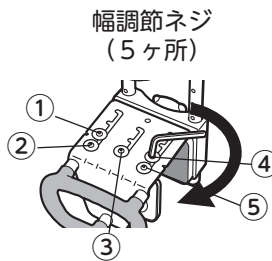
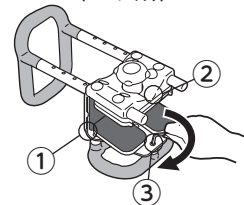
毎回の点検（必ず行うこと）

お手入れして取り付けた後や、ご使用になる前に本品がしっかりと浴槽に固定されているかを確認してください。

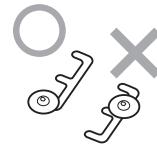
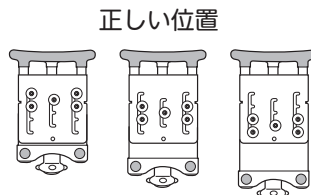
① ハンドルがゆるんでいれば、しめなおしてください。
② 浴槽との間にすき間があれば、製品を取り外し、浴槽へ再度取り付け、しっかり固定してください。
③ 取り付け面や製品にヌメリがないようにしてください。

お手入れの方法

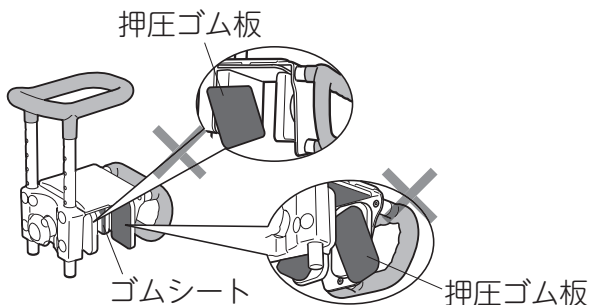
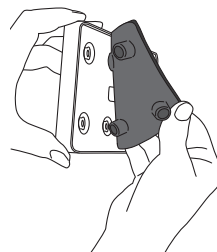
異常時の点検

ガタつきが**毎回の点検**で直らない場合、以下をご確認ください。
下記の対応でガタつきが直らない場合はただちに使用を止め、お買い上げの販売店や弊社「お客様相談室」までご相談ください。

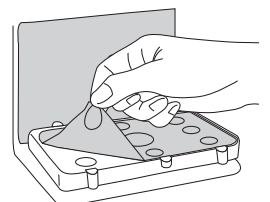
①以下を点検してください。

ネジやスライド板がずれた状態でしめられていませんか？

➔ 最後までスライドしてから固定する

正しい位置

詳しくは…**7 ページ**へ

②押圧ゴム板やゴムシートがめくれている場合は、以下の対応をしてください。

押圧ゴム板がめくれていませんか？

ゴム板の裏面４ヶ所の凸部を押圧板凹部４ヶ所にはめ込んでください。

ゴム板の凸部が破損するなどしてはめられない場合は使用を中止し、新しい押圧ゴム板に交換してください。

ゴムシートがはがれた場合は、本体やゴムシートに残った「のり」をきれいに取り除き、市販の強力タイプ両面テープでゴムシートを貼り直してから使用してください。

浴槽が傷付く原因になります。

おかしいな？と思ったら

Q.1 浴槽に取り付け後､浴槽手すりがガタつきます。

A. P.11・12「毎回の点検」、「異常時の点検」を確認し、対処してください。

Q.2 スライド板カバーがとりつきません。

A. スライド板カバーの向きが逆向きだったり、正しい位置でネジを固定していないと、カバーは取り付けられません。
P.7「取り付けかた」の項目を参照し、幅調節のネジをいったんゆるめ、幅を調節し直した上で、フレームにずれの無いことを確認して幅調節のネジをしっかりしめてください。

その他、

商品の**ご購入**に関するお問い合わせ、ご相談は…お買い求めの販売店へ
商品の**仕様等**に関するお問い合わせ、ご相談は…下記お客様相談室へ

不具合が発生したとき

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

アロン化成株式会社
お客様相談室 フリーダイヤル **0120−86−7735**
（受付時間）祝祭日以外の
月〜金 9:00〜17:00
（12:00〜13:00 は除く）

保 証 書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書・本体添付シール等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理いたします。有効期間は、お買い上げの日より１年間です。

1．修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。修理に際しては、本保証書をご提示、もしくは添えてください。
2．ご贈答、ご転居でお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、お客様相談室にご相談ください。
3．本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
4．保証期間内でも下記の場合は、有料修理になります。
　1）保証書のご提示がない場合。
　2）本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
　3）使用上の誤り、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷。
　4）お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取り扱いによる故障または損傷。
　5）火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雷、異常電圧、その他の天災地変による故障または損傷。
　6）ゴム板やゴムシートなど消耗品の損傷及び汚れ。
　7）業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷。
5．本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
　This warranty is valid only in Japan.
6．保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈個人情報の取扱いについて〉

1）保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用いたします。
　なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
2）修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

★お買い上げ日	年　　月　　日
保 証 期 間	お買い上げ日より１年
お　客　様	ご住所　〒 ご芳名
★ 販 売 店	住　所　〒 店　名　　　　TEL

★ 印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
もし記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

■保証書について

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

12.12

製品に関するご意見･お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル 0120-86-7735
（受付時間）祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
（12:00～13:00はのぞく）

製造・発売元

アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階 TEL（03）3502-1448
FAX（03）3502-1452

東京支店 ☎（03）3502-1422
大阪支店 ☎（06）6448-5127
名古屋支店 ☎（052）203-0396
福岡支店 ☎（092）741-1411
仙台支店 ☎（022）291-5475
広島支店 ☎（082）245-7100
札幌営業所 ☎（011）709-6011

URL http://www.aronkasei.co.jp/ 安寿 検索

919008-1